第 19 回熊谷市地域公共交通会議会議録

平成 28 年 5 月 11 日(水)10:30～11:45
熊谷市役所議会棟第 1 委員会室

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議題

(1)平成 27 年度事業報告及び歳入歳出決算について

①事務局説明(概要)

・平成 27 年度事業報告について

地域公共交通網形成計画の策定に関する事業者の選定委員会の開催や、計画策定のためのアンケートの実施を行い 3 月に計画を策定した。

・平成 27 年度歳入歳出決算について

歳入は、当初、形成計画策定と会議開催費について、全額を熊谷市からの負担金として計上していたが、形成計画作成が国庫補助対応となったことなどから補助金、繰越金、諸収入を加えた収入済額の合計は 6,993,6177 円である。

歳出は、事務費が 134,774 円、事業費は計画策定業務委託に契約差額が生じたことから 6,858,000 円になっている。支出済額の合計は 6,992,774 円である。

差引残額 843 円は平成 28 年度へ繰越する。

(監事から会計監査報告)

②質疑

(質問)補助金の名称は？

(回答)地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域公共交通調査事業(計画策定事業)。

③結論

承認。

(2)平成 28 年度事業計画(案)及び歳入歳出予算(案)について

①事務局説明

・平成 28 年度事業計画について

秩父鉄道新駅の整備とゆうゆうバスの再編に取り組んでいきたい。

新駅設置について国庫補助対応の内定をいただいた。事業費の 1/3 について国庫補助をいただけることとなり､それに伴い法定協議会である交通会議が事業主体となり、国庫補助及び市負担金を受けることになる。国の補助基準によると、整備自体は鉄道事業者に交通会議が業務委託する。整備後の施設は事業者へ移管する。

・平成 28 年度歳入歳出予算について

歳入は、負担金は 148,355,000 円で新駅設置に係る熊谷市及び行田市の負担金のほか、交通会議開催に係る熊谷市の負担金である。国庫補助金は、補助対象となる工種の精査を進めているところだが、全体事業費の 1/3 が国庫補助となることから、

60,000,000 円を見込んでいる。
　歳出は、会議費が 217,000 円、新駅設置に係る事業費として、消費税込みで概算 208,138,000 円を見込んでいる。

②質疑

(質問)交通会議と小委員会の開催回数は？

(回答)交通会議を 2 回、小委委員会を 3 回を想定して予算を組んでいる。

(質問)新駅について、熊谷市と行田市の負担割合は？

(回答)2 分の 1。

③結論

承認。

(3)秩父鉄道新駅設置に係る要綱の改正等について

①事務局説明

新駅設置に必要となる要綱の改正や協定等の締結といった手続きを進めてよいか伺いたい。

・設置要綱

今年度、幹線鉄道等活性化事業費という補助制度を活用して新駅を整備するが、昨今、交通会議を事業主体とする国庫補助制度が増えており、今回だけでなく今後のためにも財産に関する規定を加えておきたいと考え第 15 条を追加する。

・鉄道利用者の利便性向上等に資する施設の整備等に関する協定書(案)

新駅設置について、平成 27 年 3 月に 2 市及び秩父鉄道の 3 者による協定を結んでいるが、今年度から交通会議が事業主体となるため、交通会議を加えた 4 者による協定を締結する必要がある。現段階での案であり、関係機関等と協議しながら文言等の精査を行う。

・事業委託契約書(案)

交通会議から秩父鉄道に整備事業を委託するための契約である。現段階での案であり、引き続き事業費や文言について、関係機関等との協議を進めていく。

・工事協定書（案）

契約書第 6 条に規定する協定書である。現段階での案であり、第 3 条の国庫補助金の対象工事については現時点での目安として考えていただきたい。引き続き国庫補助対象工事や文言について、関係機関等との協議を進めていく。

なお、契約書と工事協定書は 7 月頃に締結するスケジュール感である。

②質疑

(質問)消費税は何パーセントで見込んでいるのか？

(回答)8 パーセントである。

(質問)駅名称の決定過程は？

(回答)公募を行い、応募の多かった「ソシオ流通センター駅」となった。

(質問)交通会議で負担するのは駅の建設のみで、運営は、秩父鉄道で良いのか？

(回答)そのとおりである。

(質問)委託契約の中で、個人情報の取り扱いに関する文書も添付すべきではないのか？

(回答)ガイドラインに従って作成を進めており、引き続き、国等の関係機関と協議する。

(質問)熊谷市交通地域公共交通会議は補助金の窓口になるということか？

(回答)そのとおりである。

(質問)事業の進捗状況と、工事の発注も交通会議が行うのか？
(回答)7 月頃に事業委託契約を行う予定であり、秩父鉄道が発注を行うことになる。
(質問)建築確認申請をしているのか？
(回答)事業委託契約後、秩父鉄道により申請されることになる。
(質問)工事が来年の 3 月までに終わらなかった場合はどうするのか？
(回答)その場合は繰越明許として対応すると思う。
(質問)新駅開業後、新駅からの 2 次交通は？
(回答)熊谷市と行田市のコミュニティバスの乗り入れを検討している。
(質問)ロータリー中央部分の有効活用は考えているのか？
(回答)検討中である。
(質問)ロータリーのバス等の停車場所の配置はどうなっているのか？
(回答)現在、検討中である。
(質問)今回の新駅に関する事項は、交通会議の設置要綱の目的のどこに該当するのか？
(回答)第3条第2号(形成計画の策定及び変更の協議並びに事業の実施及び実施に係る連絡調整に関すること)。
(質問)新駅の開業時期と当初の乗降者数の見込みは？
(回答)開業は平成 29 年 4 月 1 日を予定し、乗降者数は約 700 人／日を見込んでいる。

③結論
承認。

(6)小委員会の設置について

①事務局説明
これまで、小委員会を設置してゆうゆうバスの運行ルートの見直し検討を行ってきた経緯があり、今年度、ゆうゆうバスの運行方式、運行ルートの見直しを検討するため、小委員会を開催したい。
②結論
承認。

4. その他

スクールバスを運行している公立学校があるが、路線バスが廃止され少子化でスクールバスの維持が出来なくなると、生徒は学校に通えなくなってしまう。そういうケースも想定しながら公共交通を検討して頂きたい。

5. 閉会